

公益財団法人 高知県人権啓発センター 季刊誌

こころん だより

2019
冬号
Vol. 11



こころん



特集1

女性の人権と女性の活躍
～各機関が連携して取組を進めています～

特集2

こころんの
社会見学

広がる、障害者スポーツ
～スポーツが、新たな自信や生きがいになる～

表紙写真:「高知チャレンジクラブ」(高知県立障害者スポーツセンター)

女性の人権と女性の活躍

～各機関が連携して取組を進めています～

文：県民生活・男女共同参画課、こうち男女共同参画センター「ソーレ」、高知県女性相談支援センター

女性の人権を守るために

配偶者等からの暴力（DV）は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、多くの場合、女性が被害者になることが多いことから、女性の人権を守り、男女共同参画社会を形成していくうえで解決しなければならない重要な課題です。

DVは、配偶者や恋人等のごく親密な関係にある相手からの暴力であるため、家庭内等、外部の目が届きにくい場所で行われることが多く、また、周囲が気が付いても、「家庭の問題」、「他人が口出しすることではない」と見過ごされ、潜在化しやすい特徴があります。また、様々な種類の暴力が重複して加えられたり、暴力の程度や頻度がエスカレートし、長期化していくことで、被害が深刻化しやすい特徴もあります。

このため、県では、平成18年度に「高知県DV被害者支援計画」を策定し、相談体制の整備や被害者の安全確保、民間支援団体等と協働した広報・啓発などの取組を進めています。

今後も各関係機関と連携を図り、配偶者等からの暴力の防止と、被害者の発見、保護から自立まで切れ目のない支援に取り組んでいきます。

男女が互いに尊重しあうことの大切さ

こうち男女共同参画センター「ソーレ」では、性別や年齢などに関係なく、互いに認め合い、責任を分かち合いながら、自分らしく暮らしていける社会である男女共同参画社会を推進するために、ジェンダー（社会的につくられた性差のこと）やドメスティック・バイオレンス、仕事と生活の調和、性の多様性など各分野の専門家を招き、講演会や講座を開催するほか、講師を地域や団体、企業に派遣する出前講座を行っています。

講演会や講座は、貴重な学びの機会として、また若者から高齢者まで幅広い年代が交流できるふれあいの場としても好評をいただいています。日常生活のリフレッシュや、新たな気づきのために、ぜひ「ソーレ」にお越しください。

女性の活躍で、高知を元気に！

全国に先行して人口の自然減が進行する中、少子化傾向に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある高知県を維持するため、「女性の活躍の場の拡大」を重要政策に位置付け、家庭や地域、職場といった社会全体で子育てしながら働く女性を支援する仕組みづくりに取り組んでいます。

中でも、地域の支え合いによる子育て支援の仕組みである「ファミリー・サポート・センター」は、新規開設から運営まで一貫して支援してきた結果、県内10市町に広がりました。

また、女性の就労を支援する取組では、平成26年度に開設した「高知家の女性しごと応援室」において、これまでに約2,200人の方々から相談をお受けし、740人を超える方が就職されるなど、成果が表れ始めています。

今後も、様々なライフステージを迎える女性が希望に応じて働き続けられるよう取組を進めていきます。

女性の人権に関する相談窓口

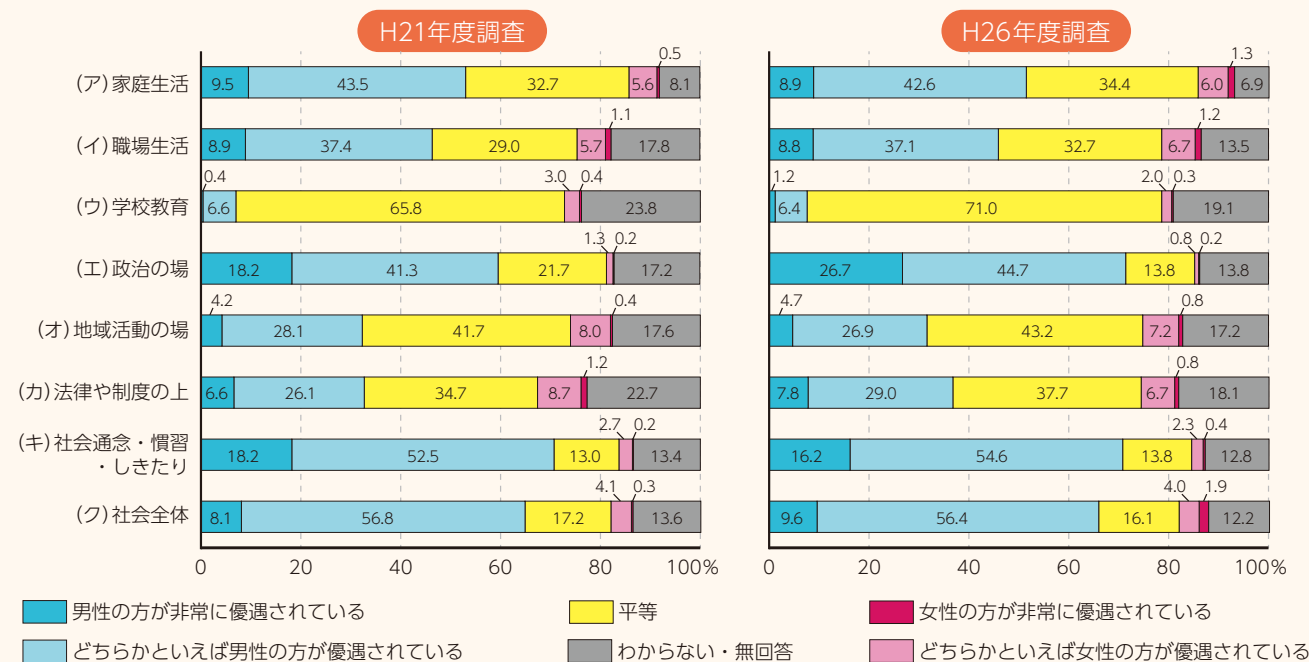
- 女性の様々な悩みや、日常生活のなかで直面する問題、不安や心配ごとに関すること
こうち男女共同参画センター「ソーレ」
☎088-873-9555
- 女性が抱える様々な問題や配偶者などからの暴力に関すること
高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）
☎088-833-0783
- 女性の人権侵害に関する相談
女性の人権ホットライン
☎0570-070-810（ナビダイヤル）
- 職場におけるセクシュアルハラスメント、育児・介護休業等に関すること
高知労働局雇用環境・均等室
☎088-885-6041
- 性犯罪被害、DV被害、ストーカ被害、被害者支援などに関する相談
高知県警察本部警務部県民支援相談課
女性被害相談電話「レディースダイヤル110番」
☎088-873-0110（24時間受付）
- 性暴力被害に関すること
性暴力被害者サポートセンターこうち
☎080-9833-3500（コラーコール）

DATA

男女平等に関する意識

（男女共同参画社会に関する県民意識調査 高知県）

問. 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。（ア）から（ク）までの各分野ごとに、あなたの気持ちに最も近い内容の選択肢を1つだけ選択して下さい。



●意識調査に関する注釈（補足） 「男女共同参画社会に関する県民意識調査」は、高知県の男女共同参画を推進していくうえの基礎資料とすることを目的に、県民の皆様の男女共同参画に対する意識について、5年ごとに調査しているものです。平成26年度の調査は、選挙人名簿から無作為抽出した県内在住の20歳以上の2,000人に、調査票を郵送し1,015票の有効回収（回収率50.75%）を得ることができました。（前回調査は平成21年度に実施。今年度実施した最新の調査結果は、令和2年3月頃に県のホームページで公表する予定）

広がる、障害者スポーツ ～スポーツが、新たな自信や生きがいに～

スポーツを通じての自立や仲間づくり、社会参加を目的として設立された高知県立障害者スポーツセンターは、本県における障害者スポーツの競技・普及・指導の拠点です。今回はその体育館にこころんが邪魔し、様々なスポーツに汗を流す皆さんの様子を見学させていただきました！



◀ お話してくれた人
高知県立障害者スポーツセンター
専門職員 笹岡 真 さん



月1～2回開催される「高知チャレンジクラブ」では、クライミングやトランポリン、体操に子どもたちが挑戦

誰もがスポーツを楽しめる場

もともとリハビリテーションの延長として始まった障害者スポーツは、今や生涯楽しみ続けられるスポーツ、あるいは競技として競い合うスポーツなど、その目的や意義も大きく広がっています。

高知県立障害者スポーツセンターには、そんないろいろな目的を持った方たちが運動をしに来られます。年齢は幅広く、下は3歳くらいから上は80代まで。障害の種類も身体・精神・知的・発達障害など様々で、生まれつきの方もいれば病気や事故で途中から障害を負った方もいらっしゃいます。

ここに来れば障害があっても誰でもスポーツを楽しむことができる、身体や心の状態に応じた支援を受けながら挑戦できる。そんな場所を目指し、日々競技や指導に関わっています。

多種多様なスポーツ教室を開催！

では高知県立障害者スポーツセンターではどんな競技ができるのか？——実は、即答が難しいほどたくさんの種目が体験可能です。一部を紹介すると、体育館なら車いすバスケットや車いすラグビー、シッティングバレー、クライミング、ボッチャ、ビームライフル、卓球、フットサルなど、屋外なら野球、フットベースボール、フライングディスク、テニス、アーチェリー、水泳などが競技可能で、スポーツ教室も開催しています。また県内の他団体と連携してヨットやカヌーなどアウトドアスポーツの体験教室にも力を入れています。

🔍 発見こころん
工夫された競技用具が
いっぱいあったよ！

◀ 車いすラグビーの車いす
ガツンと強いタックル(車いす同士の
ぶつかりあい)やブロックをするよ！

▶ ハンドサイクル
ハンドルを手で回して走るよ！



ヨット



卓球



フライングディスク



カヌー

- ヨット 誰でも安全に操作できる小型ヨットを走らせます
- 卓球 障害によってプレースタイルも変わります
- フライングディスク コントロールや飛距離などを競います
- カヌー 高知市内を流れる鏡川で、気軽に体験が可能です

スポーツセンターの
利用は増えているんだって。
こころんも一緒に
スポーツしたいな！



一つの「できた」を次につなげる

障害者スポーツに関わる中で私たちが大事にしているのは、一つの「できた！」を次の意欲につなげてあげることです。

例えば、知的障害など、生まれた時から障害のある子どもさんの中には、周り比べて自分は運動ができない、ダメだと思っていたり、保護者のみなさんもうちの子にスポーツは難しいと考えていたりすることがあります。けれどここに来て周りを気にせず身体を動かしてみれば、何かその子のできることが見つかるし、ステップアップの喜びも感じてもらえると思います。

また中途障害の方には、失った機能への喪失感を抱えておられる方もいます。スポーツを通じて残っている機能をできるだけ高め、新たな目標や楽しみにつなげてもらえればと思っています。

スポーツに取り組むことで目標や夢を持つ。自立心や就労意欲を高める。そういったプラスの連鎖のお手伝いができればうれしいですね。

スポーツの力って
すごいんだね！



スポーツセンターの情報はここから！

様々なスポーツ教室・体験教室の開催や、施設の提供を行っています。詳しくは下記をご覧ください。

www.kochi-scfcd.com



高知県立障害者スポーツセンター

住所：高知市春野町内ノ谷1-1
利用時間：火～土：9:00～21:00 / 日・祝日：9:00～17:00
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(日・祝日を除く)、年末年始
TEL：088-841-0021 E-mail：sports11@kochi-scfcd.com

スポーツを通じて障害者の健康維持増進や社会参加を促進することを目的にスポーツ教室や大会の開催、指導・普及啓発活動を行っている。指定管理者は、社会福祉法人 高知県社会福祉協議会。



スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業

冠協賛試合を開催しました

「高知ファイティングドッグスvs愛媛マンダリンパイレーツ」

実施日：令和元年9月6日（金）18時～ ※雨天のため7月19日（金）から変更

会場：高知市営球場 / 来場者数：382名

グラウンド内や試合中のインフォメーションを通じて、児童虐待や性的指向・性自認についての啓発を行いました。



インフォメーションでアナウンスした原稿より

「いちはやく 知らせる勇氣 つなぐ声」。あなたの勇気で子どもが救われます。児童虐待かもと思ったらすぐに189（いちばちきゅう）に電話しましょう。



ボッチャ体験教室

実施日：令和元年10月10日（木）10時50分～12時30分

対象：高知市立横浜小学校2年生（62名）

ボッチャは、重度の脳性麻痺者のためにヨーロッパで考案されたパラリンピック正式種目で、東京2020パラリンピックの正式種目にも採用されています。目標球（ジャックボール）に向かってボールを投げ、どれだけ近づけることができるかを競います。ルールはとてもシンプルでわかりやすいものですが、とても奥深く面白いスポーツです。体験教室では、ルールの説明や競技指導などを受けたあと、楽しみながらゲームに挑戦しました。



講師：高知県ボッチャ協会 / 協力：高知地方税局人権擁護課、高知県人権擁護委員連合会、高知市人権同和・男女共同参画課

アンケートより

○ルールがわかってよかった。ユニバーサルスポーツというのを知れてよかった。次はがんばりたい。

○ボッチャはいろいろな人ができるからよいと思いました。

○車いすでもできるスポーツなんだと思いました。ユニバーサルスポーツはだれでもできるんだと思いました。

○ほかにどんなパラリンピックの競技があるか考えました。

人権野球教室

実施日：令和元年11月3日（日）14時～17時

会場：高知市営球場 / 参加者：125名



第2回 ハートフルセミナー

「LGBTのことそして人権 ～誰もが生きやすい社会へ～」

南和行さんによる講演会を行いました

実施日：令和元年10月27日（日）14時～16時 / 参加者：116名

講師：南 和行さん（なんもり法律事務所 弁護士）

会場：高知県立人権啓発センター6階ホール



大阪で「夫夫（ふうふう）」で弁護士事務所を開設している南和行さん。講演では、「なぜ自分が講師として招かれたか？」から始まり、「結婚してパートナーと法律事務所をやっている」では招かれることはなく、「自分が同性愛者で、結婚もして、共に法律事務所をしているからです」と話し始めました。同性愛であることに気づいた10代は、同性愛への差別と偏見をたくさん感じたこと、自分自身の同性愛を肯定できない社会であったことなど、丁寧に当時の気持ちを語ってくれました。そして、弁護士として関わってきた性的マイノリティの差別の実態を踏まえ、LGBTの前に自分の性を考えてみよう、LGBTという特別な人があるのではなく「普通という誤解」について、参加者に理解を促しました。

ふりかえりシートより

○「性的指向・性自認」のことは自分で分かっているつもりになっていたが、知らないうちに、自分の中にも偏見があることに気づきました。
○LGBTだけでなくH（異性愛）、C（性別一致）があると初めて知りました。LGBTが特別でHやCが普通なのではなく、それぞれのありのままを尊重することが大事だというお話、とてもわかりやすく心に響きました。

○南先生が言っていた「ちょっとぐらいいがまんできないの?」という言葉の暴力性が特に印象的だった。自分を基準に考え「それくらい平気だろう」「そんなことなんでもないでしょ」のような言葉が、LGBTを、障がい者を、高齢者をどれだけ追いつめ苦しめ、生きることにささ難くしているか、考えさせられた。
○自分の周りにもいるんだと気づいてくれる人が多いといいなと思った。

2020年

1月26日（日） 13:30～16:00 ※開場30分前

上映会 講演会

令和元年度 人権啓発研修 第3回ハートフルセミナー

映画「道草」上映会（バリアフリー字幕付き）・穴戸大裕監督講演会

会場 高知県立人権啓発センター6階ホール

【映画】13:30～15:10 / 【講演】15:20～16:00

参加費無料 定員200名（予約優先）

作品紹介 3人の重度の知的障害者が親元や施設を離れ、自立生活を送る日々を追ったドキュメンタリー映画。相模原市の障害者施設殺傷事件で息子が重傷を負った家族も登場する。

知的障害がある人の暮らしの場は少しずつ広がっていますが、「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。そんな中、2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー（介護者）付きでひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。この街で、誰もがともにあるために。あたらしい暮らしをはじめている人がいます。（映画公式HPより）

穴戸 大裕さん（「道草」監督）

映像作家。作品には、東日本大震災で被災した動物たちと人びとの姿を描いた「犬と猫と人間と2 動物たちの大震災」（2013年劇場公開）、人工呼吸器を使いながら地域で生活する人を描いた「風は生きよう」（2016年劇場公開）、知的障害がある人の入所施設での人生を描いた「百葉の葉さやま園の日」（2016年製作）がある。

2月9日（日） 14:00～16:00 ※開場30分前

上映会

令和元年度 人権啓発研修 第4回ハートフルセミナー

映画「いろとりどりの親子」上映会（日本語字幕付き）

会場 高知県立人権啓発センター6階ホール

参加費無料 定員200名（予約優先）

作品紹介 「しあわせの形は無限に存在している」
大きな困難を抱える子どもと親が語る、飾らない真実のストーリー
24か国で翻訳された世界的ベストセラーノンフィクションの映画化

作家アンドリュー・ソロモンが、自分をゲイとして受け入れようと苦悩している両親の姿に直面したことをきっかけに、10年をかけて、身体障がいや発達障がい、LGBTなど、親とは“違う”性質を抱えた子を持つ300以上の親子に取材。社会派ドキュメンタリー作品を手掛けてきたエミー賞受賞監督レイチェル・ドレツツィンが、本書に深い感銘を受け映画化。ありのままを受け入れ愛する6組の親子の姿を見つめる感動のドキュメンタリー。

お申込み
お問合せ

公益財団法人 高知県人権啓発センター

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

（メール申込の際には、件名を「第〇回 ハートフルセミナー申込」としてください）

じんけんライブラリー情報

今回は、ハートフルセミナーの映画に関連したテーマの図書を紹介するよ！



1.



2.



3.



4.



5.

- 『ママは身長100cm』伊是名 夏子 著（ディスカヴァー・トゥエンティワン）
骨形成不全症で身長100cm体重20kg、車いすユーザーの2児のママが語る、まわりを巻き込み、助け合う子育てのコツ。
- 『ヒロのちつじょ』佐藤 美紗代 著（太郎次郎社エディタス）
ヒロの行動には秩序がある。ダウン症の兄の日常を大学生の妹が観察し、シンプルなイラストとともに紹介したエッセイ。
- 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレディ みかこ 著（新潮社）
「地雷だらけの多様性ワールド」「いじめと皆勤賞のはざま」「存在の耐えられない格差」…。イギリス在住の著書が語る、息子（父親はアイルランド人）の日々の問いとスクールライフ。

- 『宿題の絵日記帳』今井 信吾 著（リトルモア）
聾話学校に通う娘が先生と会話の練習をする補助として、宿題に出された毎日の絵日記。画家の父が描いた日々の記録。
- 『うちの息子はだぶんゲイ①』おくら 著（スクウェア・エニックス）
「うちの息子はたぶんゲイで、素直でとってもかわいいの。」優しく見守るお母さんの愛情たっぷり物語。

「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。

http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/





人権学習のためにこころんが訪問した
室戸市立吉良川小学校の1年生の
皆さんから、すてきなお便りが届きました。
「こころんきてくれてありがとう!」
「こころんはやわらかかったね」
「こころんのかみしばいたのしかったよ!」
こころんもとっても喜んでます!



ご利用案内

出張
します

人権研修のための 出前講座

講師派遣料無料

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。多彩なテーマやプログラムがあります。

貸出
します

「こころん」の 着ぐるみ・紙芝居

利用無料

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行なっています。

オリジナル紙芝居+パペット ▶



6F

ホール

●●● (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00~21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午前	午後	全日	1時間あたり	
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00		
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

● 冷暖房使用料... 1時間 / 620円

※ 2019年10月から利用料金が変わりました。

● 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー

📖 (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 9:00~17:00

利用方法 ● 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
● 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、さまざまな人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

詳しい情報は
ホームページを
ご覧ください!



kochi-jinken.or.jp

4F

視聴覚室

🎧 (利用無料/収容人員 48人)

人権に関する研修等にのみ使用できます。



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ

www.kochi-jinken.or.jp

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL : 088-821-4681 / FAX : 088-821-4440 / E-Mail : center@kochi-jinken.or.jp
〔開所時間〕月~金 8:30~17:15 (祝祭日・年末年始を除く)

「こころん」は高知県人権啓発センターのマスコットキャラクターです



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3~5分